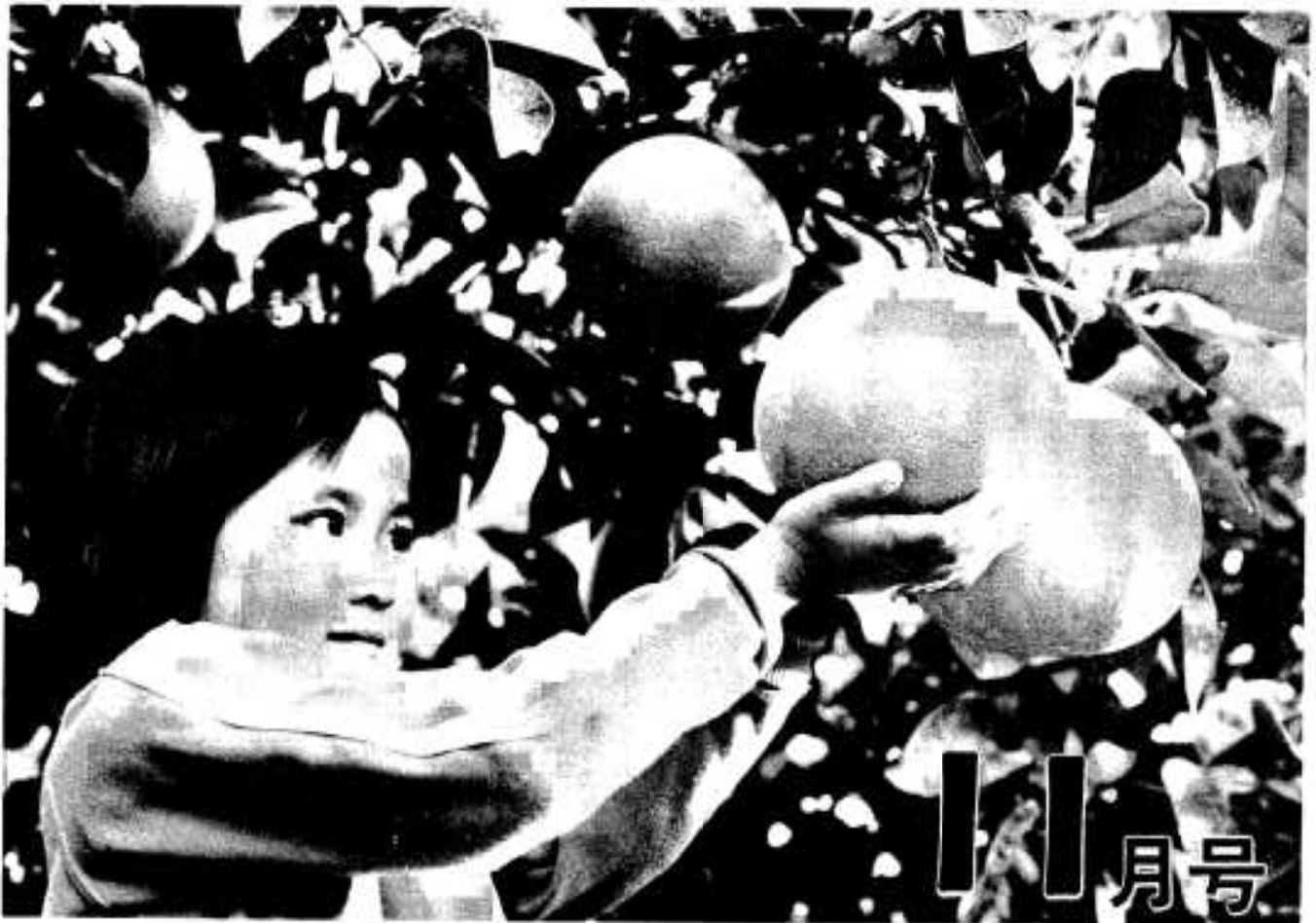




阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数	
(11月1日現在)	
人 口	30,041 (+ 7)
男	13,997 (+ 5)
女	16,044 (+ 2)
世帯数	9,650 (+ 8)



11月号

美人ボンタン初出荷 袋がけ成功。色、味ともバツグン

ボンタンの産で知られる尾崎、司木野地区を中心に、特産ボンタンの出荷が始まり、丸々と大きくなったボンタンが、次々と運び出され、おもに農協を通じて市場へと送られ、山間にはボンタンの香りが漂ちて、冬の訪れを告げています。

今年のボンタンは、とくにきれいで、ツヤがよいというのも、「形がよく、見栄えのいいボンタンを作ろう」と市や農協を中心に初めての試みとしてボンタンの袋掛けを実施。六月から七月にかけて十万亩のボンタンに袋掛けをしました。

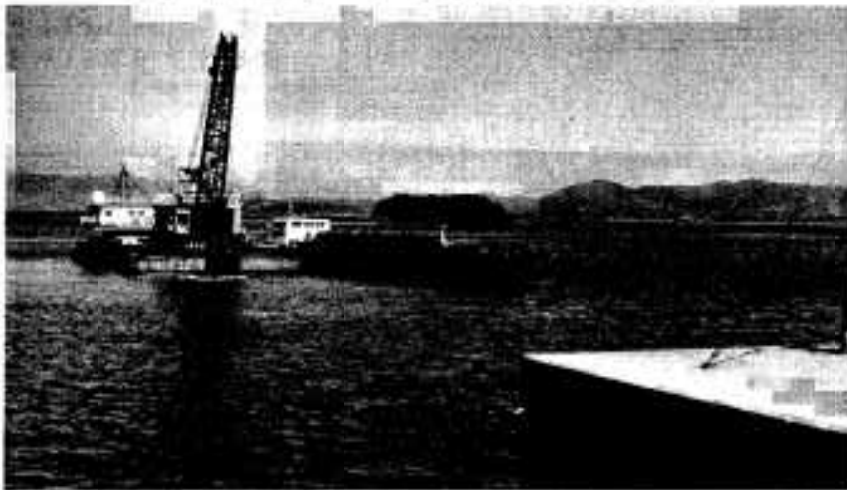
その結果は、色づきが普通のボンタンに比べ早く、キメが細かく、つやが非常に良い。病虫害が完全に防除されている一帯がわかり、美人ボンタン作りが大成功。昨年より二週間も早い出荷となりました。

今、市内では尾崎、司木野を中心にボンタンは約百七十ha栽培され、約三億円の生産額をあげて「阿久根ボンタン」として全国に名を知られています。

新しい試みでできた「阿久根ボンタン」。消費の拡大に大いに期待が持てそうです。

阿久根漁港第7次整備始まる

57年度 4億円で着工



整備計画がスタートした
阿久根漁港

まず、西側防波堤から工事

今年から昭和六十二年までの六カ年間に、総事業費約九十億円を注ぎ込み、今の港の五倍の拡張を目指す大型プロジェクト、阿久根漁港の第七次整備計画が始まり、十月二十三日阿久根市漁協で起工式が行われ、六十二年度完成を目標に工事に着手しました。

鹿児島県下の沿岸漁業のトップクラスとして飛躍的に発展をつづける阿久根漁港。アジ、サバ、イワシを主体に水揚げも年々伸び、昨年は約四万九千ト、六十五億円の水揚げを記録しました。

しかし、港が狭い、水深が浅く大型船がいつでも接岸できないなどの不便もあります。

市では、これらを解消し、さらに水産業の振興を図るため、国の第七次漁港整備計画に阿久根漁港の整備をお願いした結果九月水産庁において承認がされ、本格的な整備計画がスタートしたものです。

整備計画の内容については、広報あくね八月号で詳しくお知らせしてありますが、概要については次のとおりです。

整備計画は、昭和五十七年度から昭和六十二年までの六カ年事業で進められ、防波堤四ヶ所、延長九百二十ト、護岸延長五百八十ト、岸壁一千九十五トを建設します。

現在の新港西防波堤をさらに四百八十ト延長、北側には護岸三百七十トをつくり、この延長に防波堤二百七十トを建設して新しい漁港をつくり、ここを埋め立て十二万四千平方メートルの広大な用地を造成して、荷捌施設や冷蔵庫、加工団地などの水産施設を設置します。

水深も五トから六トの深さにして常時五百トクラスの大形船の接岸を可能にしようとするもので、今の漁港の五倍に拡張されます。

これに要する事業費は約九十億円、昭和五十七年度分は四億円、西側防波堤の延長から工事が始まりました。

阿久根市漁協で行われた起工式には県や市、漁協関係者、工事関係者など百二十人が出席、川畑市長が「市制施行三十周年という記

進む中央林道

本年度一キロメートル完成へ

県事業として昭和五十六年の八月から工事が始まった、林道阿久根中央線は、二年目の今年も順調に工事が進み、本年度末には一キロメートルの林道が完成の予定です。

林道は山下横ヶ倉から、山下、尾崎地区のやまなみを通り、田代下までの十二トを結ぶというもので、昨年着工してすでに四百トが完成しています。

今年、六百トを延長する計画で、市街地を遠くに見おろす山の上で昭和六十三年の全線開通を目指し工事は順調に進んでいます。林道周辺はスギ、ヒノキ、竹などの主産地となっており、林業振興の発展にはたす役割は大きく、早期完成が待たれます。



消防ミニニュース

(一) は一月から十月

十月の大災発生数 5 (21)

救急車出動回数 44 (510)

念すべき年に、国や県のご協力により、第七次漁港整備が始まりました。阿久根市の発展を担うこの大事業の早期完成に向けて今後も努力してまいります。とあいさつし、工事の着工を祝いました。

浦地区を構造改善

来年度から工事に着工

昭和五十八年度から六十年
度までの三カ年間に農事業費
約一億七千万円を注ぎしんで
始まる。市内赤瀬川浦地区の
構造改善事業の計画が明らか
になりました。すでに測量も
終りのよい来年度から工事
に着手する見通しです。



来年度から構造改善事業が始まる浦地区

浦地区は、市街地から北へ約三
キロ、東シナ海に面し、東は国道三
号、西は国道三八九号に囲まれた
農村地帯で、水稲やカンショ、畜
産を主体とした農業経営が行われ
ていますが、耕地が不ぞろいのう
え、用、排水路に恵まれず、思う
ような農業生産があがらない現状
です。

市では、これらを解消し、農家

所得の向上を図るため、この地区の
構造改善事業を行うもので、今年、
地区再編農業構造事業の申請を提
出、四月県の指定を受けました。
すでに、地区の測量も終り、現
在、計画について認定の手続中で
来年度四月認定を受け、七月には工
事に着手できる見通しになってい
ます。

約十五ヘクタールを整備

計画では浦地区約十五ヘクタールを整
備し、一ほ場を〇・二ほ場に整地、
道路や用、排水路とも各ほ場につ
くります。また、根比地区には肥
育牛畜舎と花き栽培用の温室を建

馬見塚と大漣に集会施設

今月中には着工へ

市内西目の馬見塚区と橋本の太
漣区に新しい集会施設が建設され
ることになり、今月中には着工の
予定になっています。

集会施設は市が林業構造改善事
業の一環として建設するもので、

馬見塚区の集会施設は、現在の集
荷場跡に、木造平屋の七十四平方
メートルの広さ、大漣区は村中に入った
県道沿いに木造平屋百二十二平方
メートルの広さで、今月中に入札を終り、
工事に着手する見通しです。

設します。整備されたほ場では豆
類、水稲を中心にカンショ、ジャ
ガイモなどの農作物が作付され、
集団栽培、複合経営、後継者の育
成を図り、農家の所得向上を目指
します。

事業は、昭和五十八年度から六
十年までの三カ年計画で進めら
れ、これにともなう総事業費は約
二億七千万円、受益戸数六十一戸
です。

税を知る週間

11月11日(木)～11月17日(水)

私たちの生活の中で税金は、
あらゆるところに
使われています。
税について、みん
なで考えてみまし
ょう。



誕生

おめでとー



出生児 保護者 区名

牛之浜理恵	孝則(牛之浜)
佐藤 孝啓	孝雄(大丸)
本 仁美	時義(大丸)
川原 正嗣	克郎(波留)
松下 卓浩	寛(大尾)
佐藤 武	富士男(大丸)
宮野 福子	榮藏(本町)
磯畑 舞	章(中屋敷)
佐藤 美和	和則(高之口)
花田 吉史	利治(仲仁田)
松木 辰弥	米増(大丸)
佐藤 芳信	芳徳(波留)
大田 哲也	輝美(高松)
高口 集	宗三(高之口)
新町 孝志	良孝(新町)
牛之浜繪美	重幸(大川島)
西園 正人	宗夫(高之口)
井上 信一	博樹(高松)
下園 由美	信義(湯)
木山 良美	良一(本町)
谷村 翔太	友徳(波留)
福浦 香菜	清信(黒之浜)
山平 肯司	政和(小漣)
追口 貞充	宗治(瀬之下)

たばこは

市内のお店で
買いましょ

ジャパン物産操業を開始 肉製品を加工・販売



操業を開始したジャパン物産工場

「マイ、ハンバーグなどの肉を製品化し、全国の取引先に販売します。」

落成式には関係者二百五十人が出席、十三年ぶり誘致企業として進出したジャパン物産の完成を祝いました。

十一月二十六日から
十二月二日まで

「秋の全国火災予防運動」

いよいよ寒くなってきました。十一月から来年の三月までのこの期間は、火災が起こりやすい時期で、阿久根市においても昨年一年間に二十件の火災が発生、八件



がこの時期に集中して発生しています。十一月二十六日から十二月二日まで「秋の全国火災予防運動」が実施されます。今年には「火の用心、心で用心、目で用心」を統一のスローガンに、重点目標に①身体不自由者等を中心とした焼死防止対策の徹底、②家庭における防火対策の推進、③防火対象建物についての安全の確保、④防災機器の普及の推進、以上の四つを掲げ運動を進めます。

テレビによる防災番組を視聴しましょう

「ある日、突然、何の予告もなくしに襲ってくる災害の恐ろしさは昔も今も変わりありません。」

鹿児島テレビでは、テレビによる防災運動を行っています。ぜひ番組をごらんになり、防災についての知識を深めましょう。

日時と内容

十一月十八日(木)10:55~11

焼津市の自主防災組織

十一月二十五日(木)10:55~11

秋の火災予防運動

十一月二十七日(土)11:45~11:50

火の用心、心で用心、目で用心

石油ストーブの扱い方

畜産経営技術養成研修者を募集
申込みは二十日まで

畜産農家を対象に、家畜及び草地等の管理に関する知識や営農技術を学ぶ、大規模畜産経営技術者養成研修会が次のとおり実施されます。

〇期 日 五十八年一月十二日から三十一日までの二十日間

〇場 所 農林水産省宮崎種畜牧場鹿児島支場(曾於郡大隅町月野)

〇申込み 十一月二十日まで市役

所農政課畜産係へ申込みください。

熊本県と県内へ宣伝隊 冬場の阿久根をPR

冬は阿久根の温泉へどうぞ。

冬場観光宣伝隊が、十月四日から六日までの三日間熊本市や八木市それに県内各地を回り、阿久根をPRしました。

今回の宣伝には、市観光協会、飲食店、旅館組合から十五人が三班に分かれて回り、市役所や事業所、観光協会などを訪ね、冬場の宣伝に努めました。

阿久根市長選挙

昭和五十八年一月十三日告示

十四日 立候補締切り
二十三日 投票日

阿久根市が誘致していましたジャパン物産の阿久根工場がこのほど完成、十月三十一日B&G海洋センターで落成式が行われ、本格的な操業に入りました。

ジャパン物産は、千葉県松戸市に本社を持つ、食肉の加工を主な業種とする会社で、阿久根工場

は市内赤瀬川野元に四千七百四十一平方メートルの敷地を造成、ここに作業室や冷蔵庫を備えた五五八平方メートルの工場を建設して操業を始めた。

当初従業員は六十人でスタート、将来は二百人ほどに増員する計画。豚や牛のカット肉からハムやシニ

お年寄りの医療費 来年二月から一部負担

通院—一カ月四百円
入院—一日二百円—二カ月間

老人保健法が成立し、来年の二月一日から七十歳以上（寝たきりの場合は六十五歳以上）のお年寄りの医療費が、この制度で運営されることになりました。

いままでは、七十歳以上のお年寄り（寝たきりの場合は六十五歳以上）が医者にかかる場合の医療費は、国民健康保険がその七割を、国や地方自治体が残りの三割を負担していました。つまり無料で医者にかかれたわけです。

今度の老人保健法の成立で、お年寄りが医者にかかる場合は、次のように一部負担金を支払わなければならないことになりました。

- 外来診療の場合
 - 一つの医療機関について 一ヵ月四百円
- 入院の場合
 - 一日 三百円 二ヵ月間
- 外来の場合
 - 外来の場合の一ヵ月というのは

最優秀賞に白濁老人クラブ

市の花だんコンクール

第九回の阿久根市花だんコンクールは、市内の二十六団体が応募して行われました。

間教育委員会、改良普及所により審査が行われ、最優秀賞に白濁老人クラブが入賞したほか、優秀賞三、優良賞九、努力賞五を決めました。

暦月によります。つまり、一回受診して四百円を支払えば、もうその月はお金を支払う必要はありません。月がかわれば、またその月の分を支払うこととなります。

月末の三十一日に受診して四百円支払い、翌月の一日に受診してまた四百円を支払うという場合も生じてくるわけです。

また、一つの医療機関について一ヵ月四百円ですから、内科とか眼科とかいうように、病院・診療所が変われば、そのつど四百円を支払うこととなります。

入院の場合

入院の場合は、入院した日の翌々月の前の日、たとえば九月五日に入院すれば、十一月四日まで一日三百円を支払うこととなります。そのあとは、お金を支払うことはありません。

医療費が増大しています。日頃から健康に注意し、医療費の引き下げに協力していただくとともに、老人保健制度について、ご理解、ご協力をお願いします。この制度について詳しくは市役所保健衛生課保険係へ問い合わせください。

した。各賞の入賞団体は次のとおりです。なお表彰は来年一月行われる社会教育大会の席上で表彰されます。

- 最優秀賞 白濁老人クラブ
- 優秀賞 山下馬場長寿会、桐野共栄会、古里長寿会
- 優良賞 瀬之浦上老人クラブ、段長寿会、大尾長寿会、大川島彦山会、中村長寿会、浜老人クラブ、下桑老人クラブ、尾崎老人クラブ、大下老人クラブ
- 努力賞 遠矢長寿会、上原長寿会、湯之浦西老人クラブ、湯之浦東老人クラブ、折口東老人クラブ

短歌

阿久根短歌会

秋霖の過ぎし広野のコスモスは澄みたる空にかたがきゆらく

坂元 龍馬

胃の中にカメラの操作とまじりたり 凝視さるれば不安昂する

河南 節子

三才となりし愛孫の晴着これ秋の 灯かけに肩あげをする

森田伊佐子

ひんがしの空にさきがけ稲穂田の 明るき道をひとり霞がゆく

築瀬 紀夫

五十才の年輪それぞれにじませて 此処に集ひし吾が教子ら

橋崎 サチ



折田 憲司 選

ご冥福を お祈りします

- 鶴園ハル子 74 (尻無上) 洋一
- 新伊 コフ 87 (飛松) 博吉
- 和博 33 (市助)
- 中野 男 0 (佐渡) 敏
- 中村 ナル 84 (横手) 宗夫
- 巻木 ミカ 83 (浜) 寿市
- 田上五郎左衛門 84 (横手) ハルギク
- 松永 ツ子 78 (牛之浜) 鼎
- 野村 正之 67 (大丸) ハルエ
- 赤松 操男 34 (長野) ヒサノ
- 長田 益男 58 (箭) ナリ
- 若松 イセ 84 (尾崎) キクエ
- 本村 近古 75 (尻無下) アサコ
- 尻無浜衛兵衛 76 (尻無下) ハルケサ
- 早水 サノ 78 (藁之東) 文江
- 園田 東 38 (古里) よね子
- 山平 伊造 87 (小渡) 安夫
- 川上休左衛門 76 (深田) マツノ
- 石原フジノ 77 (脇馬場) 勇
- 山平イセノ 87 (小渡) 四夫
- 石沢幸之助 85 (脇馬場) チエ

こむら返り

運動しているとき、こむら返りが起こったら、足を伸ばし、親指をつかんでせらせる動作をくり返したり、軽いマッサージを行います。全体に温ためて行うのが効果的です。

楽しく健康づくりを

働く婦人の家 大にぎわい



たのしい料理教室

家族の幸せのためにも健康が一番

浜区 浜崎 蘭子

保健センターが完成して早いものでもう半年が過ぎました。立派な建物の内部はどの様になっていくのかと大変興味がありました。私もまだ数える程しか利用して居りませんが、健康を保持していく為の予防、検診は

云ふに及ばず、生まれる前からの知識、指導や、一般常識、教養、趣味講座等あらゆる利用が出来る立派な設備が整っています。家庭は、家族が健康であってこそ幸せと云えるのでないでしょうか。私たち夫婦は家族の健康を管理す

る重要な責任があります。病気は治療するのは勿論のこと、何よりまず予防第一と心得します。これらの事からも集団検診や健康講座には積極的に参加して、心身共に健やかな家庭を営みたいものです。その為にも私たちが十分に活用してこそ保健センターの意義が生まれるのではないかと思います。

保健センター・働く婦人の家が四月にオープンして七カ月が過ぎました。一階の保健センターではいろいろな健康相談業務が、二・三階の働く婦人の家では軽スポーツや、各種の講座が開かれており、市民の健康づくり、仲間づくりが益々進んで、センターは大にぎわい。

「余暇を生かして何か学ぼうかなア」「ちよっと体の調子が悪いが健診を受けようかなア」。こう考えていらつしやる市民の皆さん、一階センターをご利用ください。きつと皆様のお役に立つものと思えます。

健康づくりをお手伝いします

市民の健康づくりを一手に引き受けている保健センターで、最近のセンターでの仕事の様子や市民の健康について伺いました。

「市民の健康づくりを一手に引き受けている保健センターで、最近のセンターでの仕事の様子や市民の健康について伺いました。また、市民の方々から「利用しやすい」、「施設が充実している」と好評を得、喜ばれています。今年度のセンターではいろいろな検診計画が生まれ、健康

づくりのお手伝いをしています。とくに、今年は四十歳の健康診断と婦人の貧血検査を重視して進めています。四十歳健診は二ヶ月に一回「肝機能」、「循環器」検査を主に実施していますが、受診者が少ないようです。どしどし受診していただきたいです。それと、昨年内の妊婦の方を対象に貧血検査をしたデータがあります。この調査では、受診されたご婦人の四十割に貧血の症状が見られました。これは出水保健所管内で阿久根が一番悪かったわけで（出水市は二十七・九割）ですから、今年はこの貧血検査を重点に実施しました。その結果はもうすぐで出ると思いますが、それを見て、健康づくりなどの指導を考えていきたいですね」と。

市民の健康についての自覚と言われたい。健康への関心は高まりつつあります。やはり自分の体は自分で守る。市が行う各種の検診、相談にもどしどし参加してほしいですね。二・三階にはご婦人の方のレクリエーションやふれあい、語らいの場としての働く婦人の家です。十一月の行事表には催し物がギッシリ。婦人の家の人気がかがえました。ここでご婦人の活動の手伝いをされている指導員に聞きました。「利用者が多くてうれしい悲鳴をあげています。開口一番利用状況に目を細くしながら話してくださいました。この館の利用状況を見せていただきましたが、昼から夜までスケジュールがいっぱい組み込まれ、この十月までは婦人の家主催の各種の講座が昼と夜に行なわれたい家庭料理「華道」へ

家でごろねより

保健センター・

「きもの着付」「美容と健康」
「体操」「手芸」「茶道」の長期
定期講座に約二百人。「カメラ入
門」「卓球」「民謡」などの短期
講座には約百二十人が学んだとの
こと。この講座は十月で終了しまし
たが、受講者からは「今まで知ら



なかつたことを楽しく学べて若々
しくなったみたい」、「託児の施
設があるので安心して学べてあり
がたい」、「新しい方がたと知りあ
えたことがうれしい。ーこれまで
遠う年代の方と交流できる場があ
まりなかつたので」と好評をいた
だいているようです。

大いに活用し、知識を深めよう

たけのこ会 新町愛子

私たちのたけのこ会は、公
私立の保育園、幼稚園の保護さ
んや先生方が中心となって作っ
ている会で、会員は五十人。子
どもの健やかな成長を願って、
毎月一回勉強会を開き、知識を
深めています。

これまで定例会は、会員宅や市
民会館などお借りしていましたが、
働く婦人の家がオープンしてから
ここを気軽に借りています。
恵まれた施設をフルに活用し、時
には心の洗濯や疲れをいやし、研
修の中で明日への糧を培っていま

また各種サークルなど外部団体
の定期的な利用も多くなり、講座
終了生で同好会をつくり継続して
学ぶ方々もあるようです。
十一月からは新しい講座も始ま
り、にぎわいは一段と高まりつつ
あります。

「三十歳代から四十歳代を中心
に各年代の方が集まっていらっし
やり、それぞれ思いがけぬ力を発
揮して学んでいらっしやいます。
夜も開講していますので、昼ま働
いていらっしやる方もぜひ利用し
ていただきたいですね。いつまで
も若々しくあるためにも」

市民の皆さん、健康づくりと婦
人の仲間づくり、地位向上のため
どしどし、このセンターをご利用
ください。お待ちしております。

子どもの健康NEWS
母親も積極的に参加

「青少年の非行化は全て原
点の乳幼児期のしつけ環境にあ
り」と呼ばれる昨今、この大切
な時期の子どもたちとかわる
多くの働く婦人の皆さん、この
すばらしい「働く婦人の家」こ
そ、皆さん一人ひとりの活用の
場所だと思います。大いに利用
いたしましょう。

健康体操

手が疲れたとき



足が疲れたとき
だるいとき



頭が重いとき



胃や腸の具合が悪いとき



べ運動ふたまい
の運をせこい
なかをまへり、動
おなかをくり、せろ
おなかをくり、せろ

心臓の具合が悪いとき



組織の充実と個性のある商店街づくりを



厳しい診断を受けた市の商店街

「広域商業診断」中間報告

さっそく、発展策を検討

組織の充実と個性のある商店街づくりを。このほど行われた「広域商業診断」の中間報告会で、診断士から阿久根市の商業についての診断報告が出されました。

魅力ある商店街をつくるにはどうすればよいか、また発展策は何か。現状と問題点を探り今後の指針とするこの「広域商業診断」は、市が県や商工会議所の協力を得て実施したもので、六月の通行量調査や買い物客へのアンケート調査

などの予備調査を経て、十月二十五日から二十七日までの三日間東京の中小企業診断士のベテラン東正高先生を中心に、市内のすべての商店街を対象に本調査を実施しました。昭和五十二年以来五年ぶりの調査。

二十七日商工会議所において今回の調査の中間報告が行われ、東診断士から阿久根市の商業全般について、現状や問題点について「自然発生的な商店街で近代化が立ち遅れている」「商店活動のレベルが低い(機能がバラバラ)」「客の流れが市外(川内、出水)に流出している傾向が見受けられる」「しかし市民の八〇％は市内で買い物をしている」「店に個性がなく、パ

ラツキがあり、客に対しての熱意に乏しい」「商店街組織が充実していない」「商業圏が高松川、鉄道、海により分断され、買回りに不利」など指摘が出され、「昭和五十二年の商業診断の結果がどこにも生かされていない」と厳しい報告が出されました。

阿久根市商業の今後の発展策として「組織を見直し、地域の発展に順応する、個性のある商店街づくりに努める」「個人店は消費者の要求を先取りする努力が必要」

「駐車場対策(共同設置、利用の方法)」など指導と助言がありました。

この日の報告会には商店主、市の関係者約百人が出席しましたが、厳しい報告と的確な現状分析にうなずきながら、メモをとる姿が多く見られ、商店主の方々は早くも明日への発展へと意欲をみせていました。

市では今回の報告について「診断の結果を冷静に受けとめ商工会議所と一体となって都市環境に即した地域の振興、環境整備をはかってゆきたい」と、今後の商業の発展の資料とすることに、商工会議所では「報告会に指摘された内容を素直に受けとめ今後送付される診断報告書を地区別、商店街別に検討し差し当り可能なものから取組んでいきたい。そのためには

一商店・一商店街だけの力で出来るものでもなく市行政当局の今後一層のご支援を期待して消費者のニーズに沿うような活力ある阿久根の商業・商店街づくりを検討していきたい」と話しています。

各商店街においては店舗の改装、消費者サービス、カラー歩道やアーケード街の構想など商店街づくりへの気運も見られるだけに、今回の報告は阿久根市商業の発展について一つの布石を投げかけたものとして注目されます。

市職員異動

十一月一日付

○印は昇格

- ▽福祉事務所長(商工観光課長)
- 有田昭▽商工観光課長(水道課長)
- 貴島俊夫▽水道課長(総務課長補佐)
- 木古昇▽総務課長補佐兼職員係長兼行政係長(総務課行政係長)
- 宇都秋夫▽保健衛生課参事兼勤く婦人の家館長補佐兼予防係長(高校総務事務局次長)
- 新郷七郎▽農政課畜産係長(保健衛生課予防係長)
- 花田達朗▽土地改良課主査(農政課主査)
- 府引昭▽農政課主査(土地改良課)
- 牛之浜時春▽税務課(水道課)
- 落忠▽同(企画課)
- 上松直幸▽福祉事務所(税務課)
- 川畑美子▽総務課(福祉事務所)
- 早水理恵

市内一周駅伝大会

28日に実施

申込みは22日まで

阿久根の冬の名物行事、市内一周駅伝大会は今年も今月の二十八日実施します。

申込みは二十二日まで

どしどし参加ください。

申込みは市役所

新坂上市郎まで

65歳以上のお年寄りの皆さん 健康診査はお済みですか

11月30日までです



楽しく暮らすためにも健康診査を

阿久根市では、市内のお年寄りの方々に少しでも長生きしてもらうために毎年無料で健康診査を実施しています。

今年も市内の六十五歳以上のお年寄り四千八百人を対象に、それぞれ受診券を配布し、十一月一日から始まっています。

の皆さん、健康診査は三十日までです。

なお、市内の病院、医院（国立療養所阿久根病院は除きます）であればどこでも結構です。受診の際は受診券（なくされた方は福祉事務所でもらってください）と健康保険証（七十歳以上は老人医療費受給者証）を持参してください。

健康料理

レバーの細切りいため

材料（四人分） 豚レバー又は鶏レバー二五〇g、小麦粉少々、油 大さじ四、ウスターソース 大さじ三、ケチャップ 大さじ三、

かき辛子 小さじ、もやし三百g、さとう 大さじ二、酢 大さじ二、塩 小さじ一、小麦粉、パセリ 少々、作り方

(1)レバーは二センチ厚さの細長く切り、塩もみし、血抜きする。
(2)小麦粉を全体にまぶして、分量の油でいためる。

(3)火が通ったら分量のソース、ケチャップをこつてりからめ、辛子を入れてふたをして、ちょっと火を弱めむらす。

(4)もやしはさつとゆで、甘酢で和え、洋皿一面に敷き、レバーをこんもりと飾り、みじんのパセリを散らす。

国民年金

こんなときこんな年金が受けられます ①

給付の種類	支給を受けられる条件
老 齢 年 金	保険料を納めた期間（免除期間を含む）が25年以上ある人が65歳になったとき
通算老齢年金	保険料を納めた期間（免除期間を含む）が1年以上あり、他の年金制度の加入期間と合わせて25年以上ある人が65歳になったとき
障 害 年 金	加入期間中の病気やけがで障害者になったとき

あくねのみんわ ⑩



に そうあな 「仁蔵穴」

むかし、「かつぎの仁蔵どん」と呼ばれるたいそう腕利きの漁師がいました。

ある日のこと、赤瀬川海岸の乾潮で恐ろしく大きなタコ入道を見たという人がいました。これを聞いた仁蔵どんは、早速鉾をかっいで出かけました。

うわさどおり、穴の入口近くの岩間に、驚くほどの大タコが悠然とまえていました。仁蔵どんはタコに気付かれぬよう思い切り近付き、狙いを定めて力いっぱい鉾を放ちました。鉾はタコの足に命中しましたが、足をちぎって穴の奥の方へ逃げてしまいました。

あきらめず次の日も出かけてみると、タコは昨日と同じ場所にはいません。慎重に狙いを定めて力いっぱい鉾を突き刺しま

したが、またしても足をちぎって逃げられてしまいました。それでも意志の強い仁蔵どんは、来る日も来る日も出かけて行っては大タコの足を一本ずつちぎりと、とうとう残り一本になりました。

そうして八日目、仁蔵どんは「今日こそは」と出かけてみると、やはり大タコはいつもの所に平然と出ていました。仁蔵どんはしっかりと狙いを定め、あらん限りの力をこめて鉾先鋭く突き刺しました。鉾はうまく足のつけ根に命中しました。仁蔵どんが懸命にもかくタコを捕えようとしたその瞬間、残った一本の足が胴体に巻きついてしまいました。もみあいひしめきあいの激闘が続きましたが、さすがの仁蔵どんも力尽き、二度と浮き上がってきませんでした。

その事件以来、仁蔵どんがタコ入道に命をとられた穴であることから、人々は、この大穴を「仁蔵穴」と呼ぶようになったと言われています。



ハイ！元気だよ！



有田鈴恵ちゃん(2歳2か月)
市内尾崎 有田弘輝さんの次女

市民のひろば



運営費の資金に

川畑中「カライモ」掘り
老人クラブ



カライモ掘りを楽しんだ老人クラブの皆さん

市内大川の川畑中老人クラブ川畑開会長では、十月十七日地区内の畑でカライモ掘りを行いました。同クラブは今年から県の生きがい対策事業を取り入れて、会員の親睦を図っており、カライモ作りもその一つ、地区内の六町の畑をクラブ用の畑に借してもらい、五月に苗を植えました。

この日は会員三十人が朝早くから畑へ出てカライモ掘り。約二時間で二十俵収穫しました。このうち十俵は運営費の資金と出荷、残りは寝たきりの会員をふくめ、これからのおやつにと全員で分けました。

「あめ食い競走」 などにハッスル

市内仲よし運動会

市内の仲よし運動会は、十月十四日市の総合グラウンドで行われ、六つの学校と授産施設から四十人が参加し、百メートルあめ食い競走など七つの種目に精一ぱい頭張り運動会を楽しみました。

とくに、あめ食い競走では、子どもたちは顔中まっ白になりながら大ハッスル、お母さんたちもさかんに声援を送っていました。

恒例の草刈り奉仕

湯「国民宿舎」周辺をきれいに
老人クラブ



草刈りをするお年輩りの皆さん

佐湯老人クラブ(福田重則会長)は、十月十八日国民宿舎周辺の草刈り作業を行いました。この作業は同ク

ラブが恒例の行事として毎年実施しているもので、この日は会員四十人がカマを持って集まり、道路端しの桜にからみついたウマカズらやカヤなどをきれいに刈払っていました。

国民宿舎周辺には桜の木が四千本植えてあり、春にはきれいな花を咲かせ、阿久根の新しい観光名所にもなっており、お年寄りたちは「来年もきれいな花を咲かせておくれ」と、奉仕作業に汗を流しました。



あめ食い競走にがんばる

阿中PTA教育講演会
11月30日 午後1時40分
漁協ホール
テーマ「どうしたら、やる気を起させるか」
講師 鹿角農大 杉村剛彦教授

阿久根駅開業60年を迎える

阿久根駅が、十月十五日開業六十年を迎え、駅内には看板や柱巻が飾られ、六十周年を祝いました。



同駅は、大正十一年十月十五日当時の国鉄川内線十六番目の駅として開業、昭和二十年の八月戦災で焼け、今の建て物は昭和二十四年に建設されたものです。

現在一日の乗降客は約一千人。観光阿久根の表玄関としての期待を担っています。

阿久根駅正面玄関



ハンディをのりこえ体力づくり

「愛和園」で運動会

市内協本の身体障害者療護施設「愛和園」で十月十四日運動会が行われ、園生五十一人と職員、家族らが参加し、賑わいました。

園生の皆さんは車イスをたくみに使い、輪投げや玉入れ、ボーリングなど九種目のプログラムに、心身の障害をもともせず、汗を流し、頑張っていました。

上野区が優勝

区対抗ソフトボール

第十四回の区対抗ソフトボール大会は十月二十四日、市内二十二区が参加して総合グラウンドで行われ上野区が優勝しました。

チーム編成は三十歳代三人、四十歳代五人、五十歳代一人と組まれ壮年の体力づくりがねらい。決勝では上野が十一対三で飛松を破ったものです。成績は二位飛松、三位佐賀、山下遠矢でした。

毎月第二水曜日は

交通事故相談日

市民相談室

ブドウを食べてください

阿久根市出身 福祉施設に贈る 神之田さん



「ブドウを食べて」と施設に贈った神之田さん(左)

十月四日、市内の三つの老人ホームに、高尾野町でブドウ園を経営している神之田益一さん団が訪れ、園で穫れたブドウを贈り、お年寄りから喜ばれました。

神之田さんは阿久根市大川の出身で五歳の時、高尾野に移り住み、現在ブドウ園二つを経営しています。今年台風による影響もなく、例年になく豊作に恵まれ、神之田

さんは「これも阿久根の人たちをはじめ、皆さんのお陰けです。」と、巨峰百をたずさえてこの日のプレゼントになったもので、「元気で長生きしてください」とお年寄りの皆さんに贈りました。

観光写真コンテストの募集

五十八年一月三十一日まで延期

さきに、応募しました、阿久根観光写真コンテストを、昭和五十八年一月三十一日まで延期して募集いたします。たくさん賞が用意してありますので、ふるって応募ください。

作品は

カラープリント四ツ切以上
カライスライド35mm判以上
送り先及び問い合わせは
16 阿久根市波留五八四〇
阿久根市役所商工観光課
電話 09967-1211

駅前交差点に盲人用の信号機が設置

市内で初めての、盲人用の信号機が駅前設置され、十月十八日から始動しています。この信号機は歩行者用が青になった時「ブコ、ビョ」 「カツコー、カツコー」とかわい鳥の鳴き声で合図をしてくれます。目の不自由な方々にとって交通事故防止に大きな役割をはたすことになるとでしょう。



